

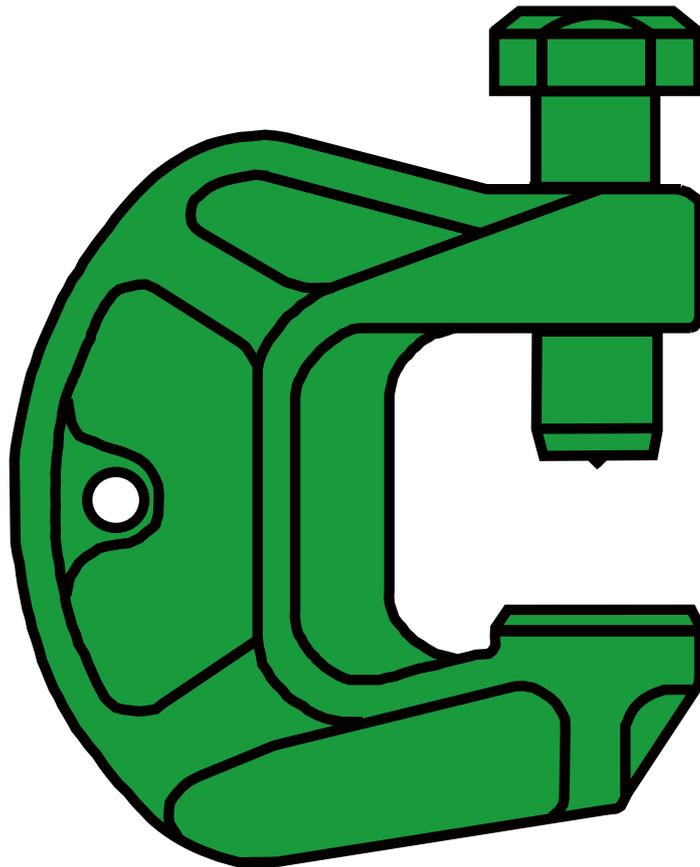
重仮設用締結金具

# リキマン

業界一強く、ゆるみにくい。

NETIS 新技術情報提供システム

登録番号 KK-170012-A

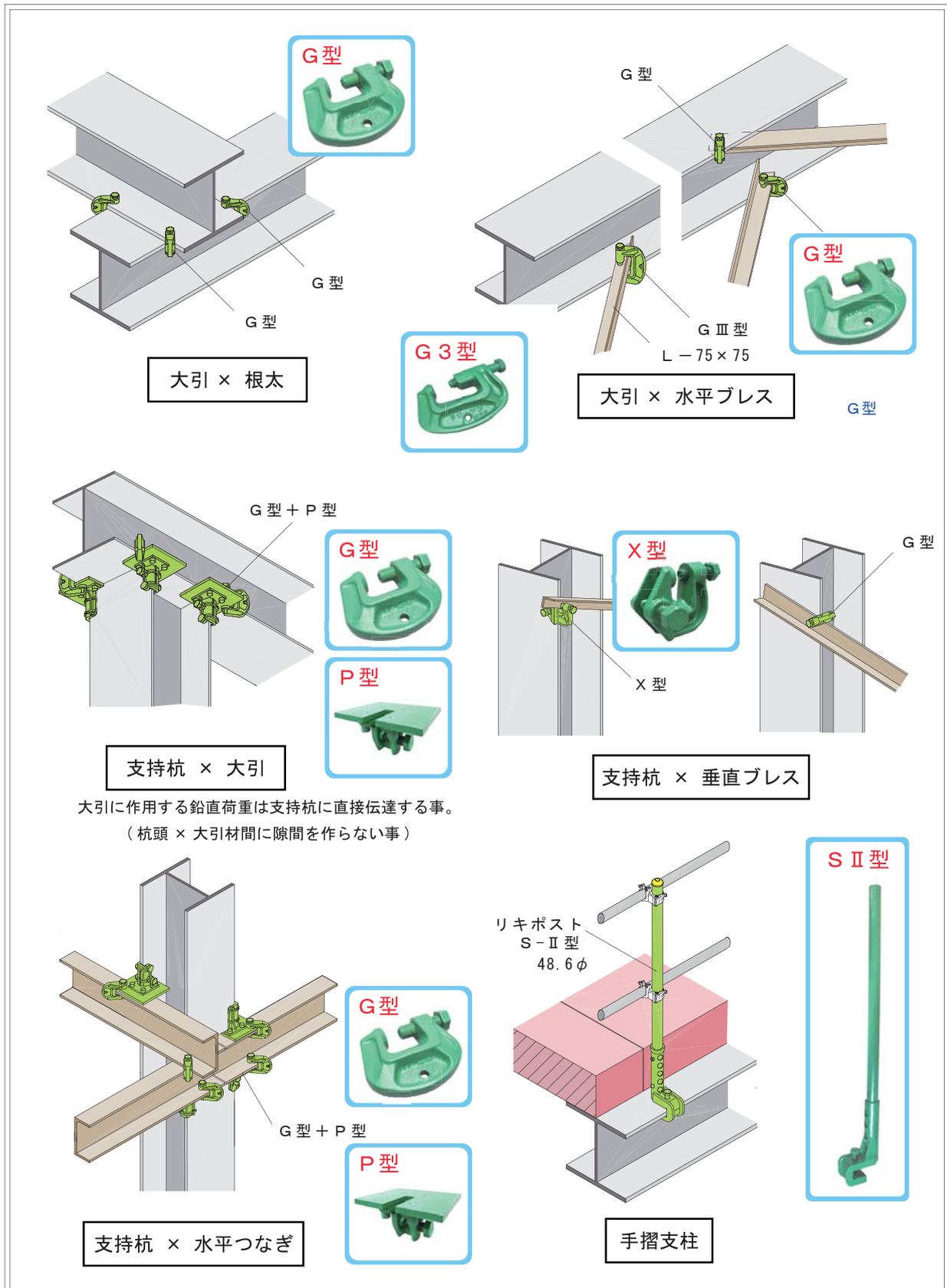


生産物賠償責任保険加入商品

Ver, 3.2

<http://www.rikiman.com>

# リキマン 標準使用例



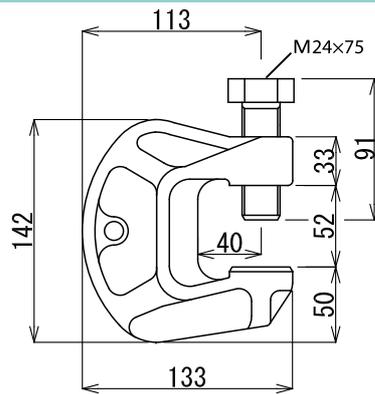
部材接合部の応力算定に満足しない場合は、金具の個数を増して対処のこと。  
詳しくは『設計・施工マニュアル』を参照下さい。

# リキマン 金具一覧

## G 型



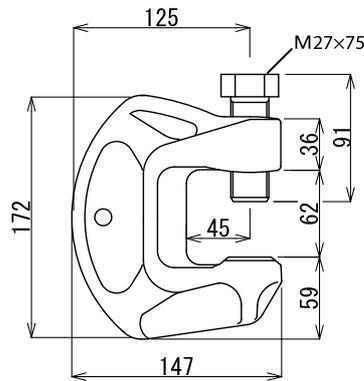
仮設工業会認定品



挟幅	15 ~ 50 mm
重量	3.1 kg
ボルト頭対辺	36 mm

許容耐力	
短期	135 kN
長期	90 kN

## G2 型



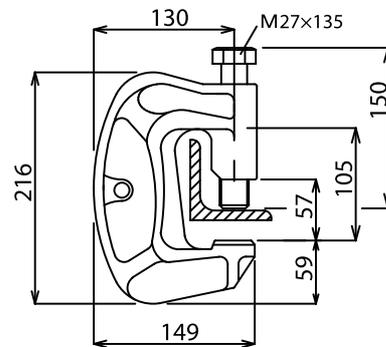
挟幅	30 ~ 60 mm
重量	4.1 kg
ボルト頭対辺	36 mm

許容耐力	
短期	140 kN
長期	90 kN

## G3 型



L-75×75 まで対応可。



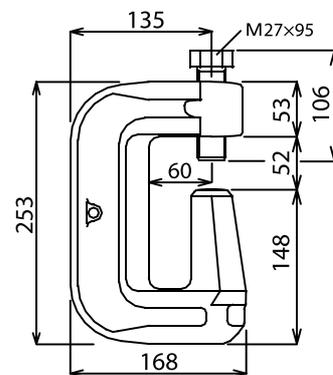
挟幅	15 ~ 55 mm
重量	5.1 kg
ボルト頭対辺	36 mm

許容耐力	
短期	160 kN
長期	100 kN

## G4 型



L-100×100、C200×90 まで対応可。

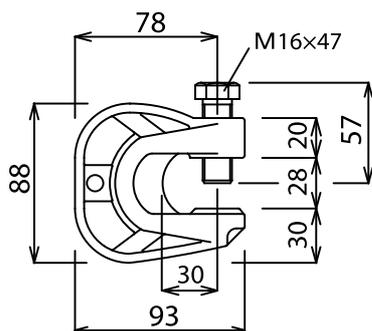


挟幅	15 ~ 50 mm
重量	9.5 kg
ボルト頭対辺	36 mm

許容耐力	
短期	105 kN
長期	70 kN

# リキマン 金具一覧

## Gs25 型

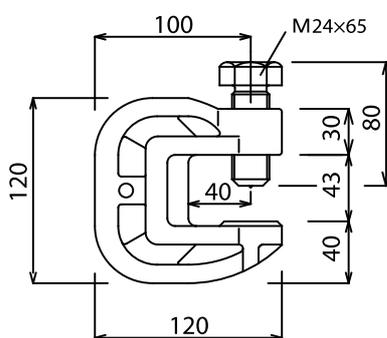


挟幅	5 ~ 25 mm
重量	0.9 kg
ボルト頭対辺	21 mm

### 許容耐力

短期	60 kN
長期	40 kN

## Gs40 型



挟幅	10 ~ 40 mm
重量	2.1 kg
ボルト頭対辺	36 mm

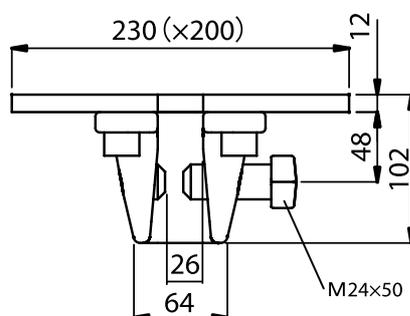
### 許容耐力

短期	90 kN
長期	60 kN

## P 型



仮設工業会認定品



挟幅	0 ~ 26 mm
重量	7.2 kg
ボルト頭対辺	36 mm

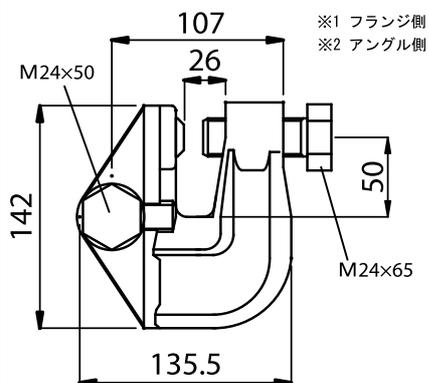
### 許容耐力

短期	130 kN
長期	85 kN

## X 型



仮設工業会認定品



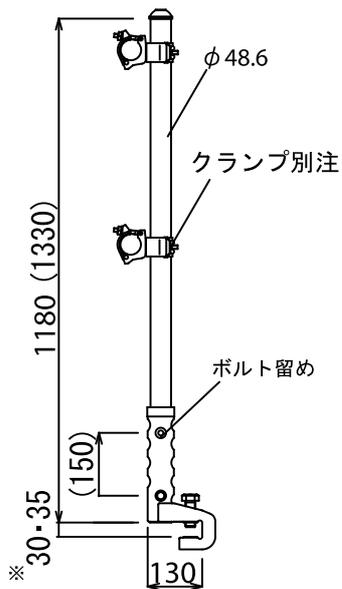
挟幅	※1 0 ~ 26 mm ※2 0 ~ 26 mm
重量	3.6 kg
ボルト頭対辺	36 mm

### 許容耐力

短期	145 kN
長期	95 kN

# リキマン 金具一覧

## リキポスト S2 型



挟幅	※ 0 ~ 30 mm 0 ~ 35 mm
重量	9.7 kg
ボルト頭対辺	36 mm

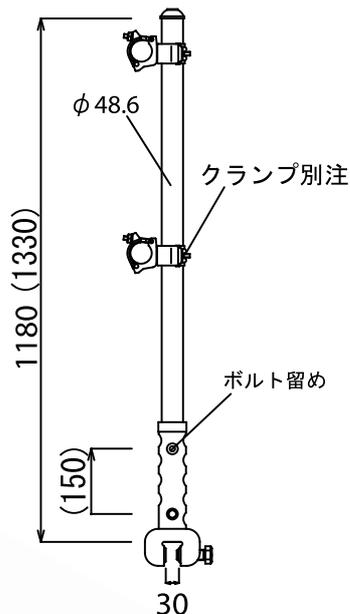
注 1) 締付トルク 200N・m  
(300N・m トルクレンチは使用しないで下さい)

注 2) クランプは別注になります。

注 3) 高さは 2 段階の切替となります。

※ 挟幅 0 ~ 30 mm タイプもあります。

## リキポスト H1 型



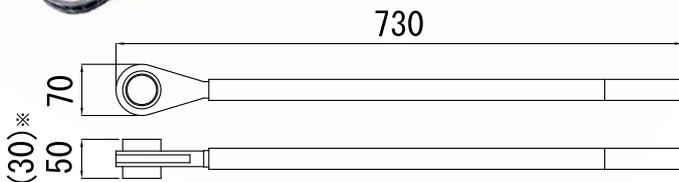
挟幅	0 ~ 30 mm
重量	9.7 kg
ボルト頭対辺	36 mm

注 1) 締付トルク 200N・m  
(300N・m トルクレンチは使用しないで下さい)

注 2) クランプは別注になります。

注 3) 高さは 2 段階の切替となります。

## リキマン専用トルクレンチ



設定トルク	300N・m (±3%)
重量	2.7 kg
ボルト頭対辺	36 mm

※ H150 用のトルクレンチ (薄型) もあります。

# リキマン 施工写真



# 取扱説明

## 使用上の注意

- 金具の取付面、鋼材の重ね合せ面に異物がない事を確認して下さい。  
コンクリート、土、砂、極端な錆び等除去して取付けて下さい。
- 鋼材の先端が、金具の奥に接する様に取付けて下さい。  
端掛けの状態では所定の耐力が得られません。  
金具の損傷、落下の原因となります。(図1、図2参照)
- 鋼材を3枚以上重ねて使用しないで下さい。  
鉄板が滑り金具が外れます。(図3参照)
- ラチェットレンチ(36mm)で仮締め後、専用トルクレンチ(300N・m)  
で本締めを実施して下さい。(図4参照)  
(GS-25型は100N・m、リキポストは200N・m)
- 1個の金具を本締めする毎に、その都度マーキングを  
実施して本締め忘れを防止して下さい。(図5参照)
- 盛替え時も必ず、専用トルクレンチで締め付け、  
色を替えてカラーマーキングを実施して下さい。
- 残った金具や取り外した金具は、鋼材の上部等に置き忘れの無いように  
注意して下さい。振動等で落下する事があり、非常に危険です。

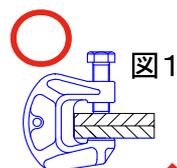


図1



図2

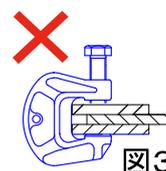


図3

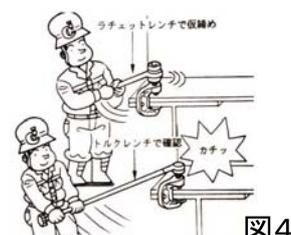


図4

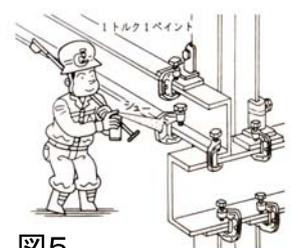


図5

## 禁止事項

- 鋼材の吊上げ治具の代用等、目的以外には使用しないで下さい。
- 鋼材の一方を固定して他方を吊上げる等の天秤吊り作業はしないで下さい。  
金具が破損する恐れがあります。(図6参照)
- 金具本体・ボルトへの溶接、溶断等の加熱・加工や金具付近での溶接・  
溶断等 高熱発生作業は絶対に行わないで下さい。(図7参照)
- 専用のリキマンボルトを他のボルトに替えて使用しないで下さい。  
高サイクル振動が直接加わる場所での使用は避けて下さい。
- 金具の取付後、位置、向きを直すためにハンマー等で衝撃を与えないで  
下さい。金具本体やボルト先端が破損し、金具が外れる恐れがあります。  
**※上記作業等を行った金具の使用は絶対に避けて下さい。**

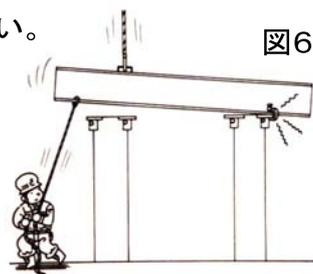


図6

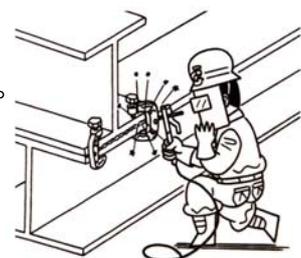


図7

◇詳細は設計施工マニュアル、点検マニュアルをご確認下さい。

◇ご不明な点は弊社までお問合せ下さい。

# リキマン

業界一強く、ゆるみにくい。

<http://www.rikiman.com>

製造・販売元



【本 社】福岡県粕屋郡須恵町大字植木2047-148  
〒811-2112 TEL(092)937-3476・FAX(092)937-3484  
【東京支店】千葉県柏市柳戸368-1  
〒270-1454 TEL(04)7160-9121・FAX(04)7160-9122

取扱店